

協議会だより

令和6年(2024年)2月29日

地域の子どもを育てる協議会事務局

北野中学校 011(882)0754

事務局・北野中学校

「子どもたちを守るために」

北野中学校 生徒指導部 夏見 千鶴子

SNSに関する講演会に参加する機会があり、その内容の一部をご紹介します。

SNSには年齢制限があることをご存じでしょうか。実際、多くの参加者から驚きの声が上がりました。Instagram、TikTok、X(旧 Twitter)はどれも13歳未満はアカウントを作れません。YouTubeも13歳以下の利用を禁じています(保護者の同意があれば可)。また最近ではチャットAIの利用について議論されていますが、このAIにも年齢制限があります。ChatGPTは13歳未満の使用不可、さらには18歳未満の場合、保護者の同意が必要となります。次から次へとさまざまなSNSやチャットAIが登場しますが、メリットもデメリットもあります。スマホ利用の低年齢化にともない、大人が知らなければならないこともたくさんあるようです。学校では情報モラルを教えています、子どもたちが事件に巻き込まれないためにも、ご家庭においてもSNSに潜む危険性を子どもたちに伝えてほしいと思います。

北野小学校

新時代のたくましさをつながりを目指して

北野小学校 校長 山内 慎理

令和5年度は子どもたち同士や保護者の方々、地域の方々と学校とのつながりを充実させていくことについて、コロナ禍の5類移行とその対応が追い風となりました。校内では様々な児童活動、学校行事がますます活性化し、今の学校や子どもたちの実態に合わせて内容を変化させながら、多くの教育活動が「つながり」の観点において実現、充実していました。また、保護者の方々、地域の方々に学校へ御来校いただく機会も増え、運動会や学習発表会では多くの方に子どもたちの様子や頑張りを御参観いただき、温かいお言葉を子どもたちへも学校へもたくさんいただきました。日頃より地域の安全を見守ってくださっている関係の方々にも、子どもたちの元気な姿を御覧いただくことができ、子どもたちの姿を通してつながりを実感していただけたことと思います。



新時代の到来と言われることもあるように、今の時代を表す言葉は多くあるようです。変化の激しい時代、転換点、AI、VUCA(目まぐるしく変化する予測困難な状況)の時代など、その多くが社会の将来を見据えて「子どもをどう育てるか」に関わることでもあると感じています。小中一貫した教育の推進や地域コミュニティの観点をもった「地域の子どもを育てる協議会」の存在は、今後ますます大切になると思うところです。

時代や社会の変化のする中を子どもたちには「たくましく」成長するとともに、人との「つながり」を大事にしてほしいと願っております。保護者の皆様、地域の皆様、これからも引き続き子どもたちのために御協力、御支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

北野平小学校

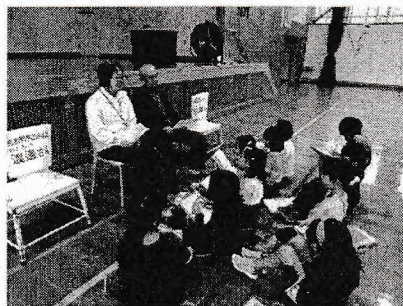
【つながり】の中で育つ子どもたち

北野平小学校 教頭 近藤 伸明

「やっぱり名前で呼ばれると嬉しいよ!」・・・これは交通指導員さんの言葉です。2年生が生活科の学習で、交通指導員さんにインタビューを行って以降、登校時の交通指導員さんへの挨拶が変わりました。子どもと地域の【つながり】は、顔と名前を覚えることから始まることを再認識しました。また、5年生が総合的な学習の一環として、『やさしいまちづくり』と題したプレゼンテーションを行

いました。子どもたちの発表に熱心に耳を傾ける、ゲストの皆様(清田区のまちづくりに関わる方々)の様子からも、子どもと地域の【つながり】を十分に感じ取ることができました。

今年度開催された『スクールゾーン実行委員会』では、北野中学校の挨拶の素晴らしさが話題となりました。在籍していた児童の成長に思いを馳せると、こちらまで嬉しくなりました。9年間で子どもを育てる意識を大切に、目指す15歳の姿を皆で共有する・・・これこそが小中一貫です。もしも願いが叶うなら、小学校の先生方全員で中学校の卒業式に参列し、感動を共有したいものです。中学校の先生方にもぜひ、小学校の入学式に参列していただき、希望に胸を膨らませて入学する9年前の



姿を、一緒に温かく迎えていただきたいと思います。現時点では、さすがに現実的な構想ではありませんが、「小中学校の連携がこんな風になったらいいなあ!」と夢いっぱい思いを巡らせることは、とても大切なことだと思います。

いよいよ『札幌らしいコミュニティースクール』が順次導入されます。『学校運営協議会』を新設し、既存の関係組織との調整を図っていくことになります。北野の地域力の高さは必ずや強みとなります。なぜなら、学校と保護者や地域が目指す子ども像を共有して、一緒に地域の子どもを育てることがコミュニティースクール

の目的だからです。北野小・北野中との【つながり】を大切にしながら、着実に準備を進めてまいります。

清田小学校

「持続可能な取り組み」を目指して

先日の1月26日(金)、令和5年度の「まちの灯り」を行いました。前日の25日は、石狩地方に暴風雪警報が発令されたため、清田小学校は臨時休校となりましたが、翌日の26日は風も降雪も弱まり、無事実施することができました。

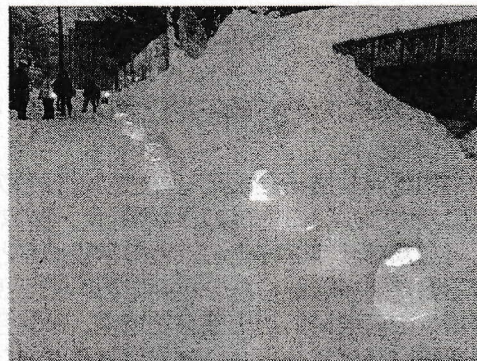
新型コロナウイルスの影響が収まりつつあった昨年度から「まちの灯り」を再開したのですが、清田小学校ではコロナ以前の「まちの灯り」に戻すのではなく、「持続可能な取組」として計画することにしました。この取組を教育課程の中に位置付け、1、2年生の生活科の時間を使って児童が雪の灯籠を作成するようにしました。そしてPTAと教職員が15時から点火の準備をし、17時まで火を灯しました。

児童が保護者と一緒に様子を見に来たり、地域の方々も見に来たりしていました。

今回の活動を通して、参加していた保護者の方から、灯籠に入れるのは、ろうそくの火ではなく、電池式のLEDライトでもよいのではないかと提案がありました。最近は、電気製品の品質向上により、安価で火よりも明るいライトが多くあります。また、これまで安全のため、寒い中でPTAや学校職員が外で継続的に火の見守りをしてきましたが、電気の使用でこれらの心配も無くなり、今後も継続して行うことができるのではと考えております。

清田小学校では、これからも、地域・保護者の皆様と一緒に、子どもたちの笑顔が生まれる「持続可能な取組」を模索していきたいと考えています。

清田小学校 教頭 遠藤 嘉史



あとがき

地域の皆様には、日頃より本会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度は新型コロナが5類に移行し、様々な活動が復活しました。その活動の一つ一つに意味があり、素晴らしいことであると実感しました。今後も、地域の子どもたちの健やかな成長のために活動してまいります。次年度も引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■各学校の様子はHPでも御覧になれます。■

北野中 <https://kitano-d.sapporo-c.ed.jp>

北野小 <https://kitano-e.sapporo-c.ed.jp>

北野平小 <https://kitanodaira-e.sapporo-c.ed.jp>

清田小 <https://kiyota-e.sapporo-c.ed.jp>



北野中



北野小



北野平小



清田小